

平成 23 年度放送番組審議会 議事録

局名	北河内局
開催日時	平成 24 年 3 月 29 日 (木) 10:30~12:00
場所	四條畷市岡山東 1-2-8 (株)ジェイコムウエスト北河内局 会議室
出席者	<p>《放送番組審議委員》5 名 (2 名欠席)</p> <p>会長 梶原 義秀 門真市防犯委員会支部長</p> <p>委員 高杢 好治 NPO 法人日本口笛音楽協会理事</p> <p>委員 山田 和之 フリーカメラマン</p> <p>委員 岩崎 好麿</p> <p>委員 鈴木 俊哉 大阪スクールオブミュージック専門学校 キャリアセンター</p> <p style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</p> <p>《株式会社ジェイコムウエスト 北河内局》4 名</p> <p>寺尾 達也 業務局長</p> <p>山添 和彦 業務局</p> <p>大原 清孝 業務局</p> <p>石塚 淳 株式会社ジュピターテレコム 関西メディアセンター</p>
審議内容	<p>(1) 会社概況報告</p> <p>(2) サービス概況報告</p> <p>(3) J:COM チャンネルの概要説明・今後の取り組み</p> <p>(4) 審議委員会各位との意見交換 (以下参照)</p>
質疑応答	<p>委員 地域色がどんどんと薄れてきている。コミチャンに求めるものは全国の情報ではなく、地域の映像や地元の人たちの表情だ。特に高齢者はそのように感じているのではないか。今後もこのような制作方針なのか。</p> <p>事務局 ご指摘の通りコミチャンは地域のチャンネルです。4 月からは第 2 コミチャンがスタートし、第 1 コミチャンは地域、第 2 コミチャンは全国と編成を明確にして番組制作に取り組んで参ります。</p> <p>委員 地域の番組が少なくなったここ数年、コミチャンを見るものがなくなった。第 2 コミチャンがスタートすることで、第 1 コミチャンで地域の番組が増えることを期待したい。</p> <p>事務局 第 1 コミチャンは 4 月から新たな番組編成となり、今後はより地域密着型番組の制作に力を入れて参ります。委員のご意見を真摯に受け止め、ご期待に沿えるよう努めて参ります。</p> <p>委員 いきいきプロジェクトなどの自社イベントと、コミチャンでの放送を連動させることは意義のあることだと感じる。「いきプロ」と言ったイベントの下地作りを大切に、地域の人たちが活躍できる場をこれからも提供して行って欲しい。</p> <p>事務局 「いきプロ」は 2007 年から本格的な活動がスタートしました。現在は月 1 回のペースで地域の人たちが講師となってさまざまな教室を開催しています。今後も「いきプロ」を通じて、地域コミュニティの輪を広げる活動を支援していきたく考えています。</p> <p>委員 ケーブルテレビのサービスが増え、操作方法などが分かりにくいという話を耳にする。どのような対策をしているのか。</p> <p>事務局 「お役に立ち隊」という、お客様サポートの専属スタッフがご自宅に訪問するなどしてお客様のご質問等にお答えしています。弊社のサービスを存分にお楽しみいただけるよう、今後もお客様サポートを充実させて参ります。</p>